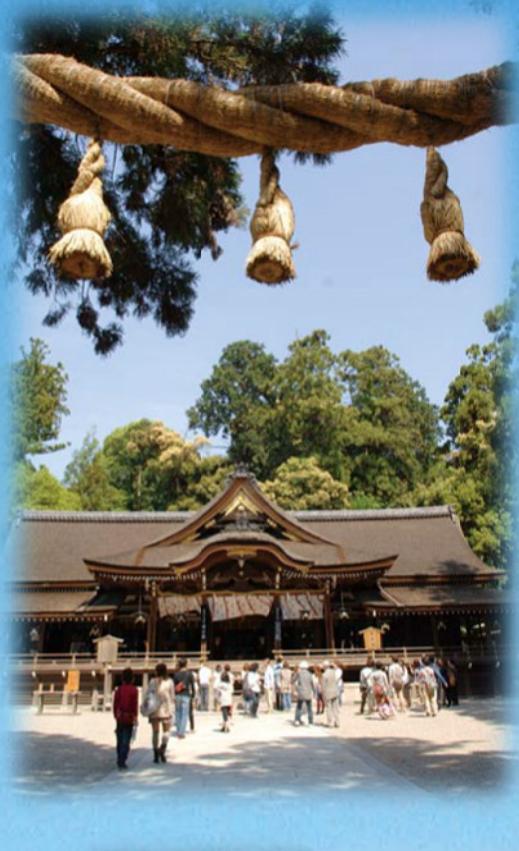


# 道德教育「奈良県郷土資料」 指導資料集2



平成25年3月

# 目 次

目 次 ----- 1

## 道徳教育「奈良県郷土資料」

指導例 ワークシート

### 小学校高学年用

はつもうで ----- 2 ----- 6

### 中学校用

道普請 ----- 4 ----- 7

# 道德教育「奈良県郷土資料」 指導例

# 1 小学校高学年用「はつもうで」 指導例

本資料は、我が国の伝統と文化として、正月の祝い膳に用いる「雑煮」や、その年初めて社寺に参詣する慣習「はつもうで」を取り上げ、身近な日本の伝統と文化について考えるこ<sup>ぜん</sup>とから郷土や国を愛する心情を育むことをねらいとして作成している。桜井市を舞台に、大神神社や古事記に記された三輪山伝説などを取り上げており、郷土や我が国の伝統と文化を育み、継承してきた先人の心について、身近な生活の中に息づく日本の伝統と文化とつなげながら考えることができるようしている。

展開前段では、小さい頃から言い伝えや古墳に興味があった父や、真剣な面持ちでお参りをしている人々の姿を通して、自分も日本の伝統と文化に興味・関心をもつようになった主人公の心情に共感させたい。また、展開後段では、身近な生活に息づく日本の伝統と文化について振り返らせ、それらを育てた先人の思いや願いを考えることから、自分たちもまたそれらを継承、発展させようとする態度や、郷土や我が国を愛する心情を高めたい。

## ◆ 主題名　　日本の心　　指導内容　高4－（7）

資料名　　はつもうで　　（奈良県郷土資料　奈良県教育委員会）

## ◆ ねらい

小さい頃から言い伝えや古墳に興味があった父や、真剣な面持ちでお参りをしている人々の姿を通して、自分も日本の伝統と文化に興味・関心をもつようになった主人公の心情に共感させ、郷土や我が国を愛する心情を高める。

## ◆ 展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導入	1、正月の行事について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 正月には、どんなことをしていますか。<ul style="list-style-type: none"><li>・おせち料理やお雑煮を食べる。</li><li>・お年玉をもらう。</li><li>・はつもうでに行く。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自由に意見を出し合せ、資料や本時の話合いへの興味を喚起する。</li></ul>	
展開	2、資料「はつもうで」を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 家の雑煮について話し合ってみましょう。<ul style="list-style-type: none"><li>・ぼくはきな粉はあまり好きでないから、そのまま食べるよ。</li><li>・合<sup>みそ</sup>わせ味噌でニンジン、大根、里芋、お餅が入ってる。</li><li>・うちのはすまし汁。鶏肉も入ってる。</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料中の雑煮のエピソードを踏まえて、児童それぞれの家の雑煮について自由に交流させ、身近な生活に伝統的な文化が息づいていることに気付かせる。</li></ul>	補助写真

展	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お父さんは、どんな思いから昔の言い伝えや古墳などを調べてきたのでしょうか。</li> <li>・どんなことを昔の人たちが考えていたのか興味があるな。</li> <li>・どうして言い伝えや伝説などが伝えられてきたのか知りたい。</li> <li>・昔の人たちも、お寺や神社でいろいろなことをお願いしていたのかな。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お参りをしている人々が、みんな真剣な面持ちで頭を下げていることに気付いたとき、トモキはどんなことを思ったのでしょうか。</li> <li>・みんなそれぞれにお願いがあるんだな。ぼくと同じだな。</li> <li>・昔から大神神社には、こうして多くの人たちが参ってきたんだろうな。</li> <li>・お参りしている人たちの一生懸命さも日本の心なんだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の言い伝えや古墳などのいわれについて、知っていることを話し合うなどして、小さいころから昔の言い伝えなどに興味があった父に共感できるようにする。</li> </ul>	
開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あなたの知っている「日本の心」には、どんなものがありますか。</li> <li>・和服にはとてもきれいな柄の着物があって、私は好きだな。</li> <li>・木造の家は、障子やたたみなどがあって、夏は涼しいよ。</li> <li>・お正月やお盆、秋祭りなどの行事もそれぞれいわねがって、ずっと受け継がれてきているものだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お参りをする人々の厳しさに着目させるとともに、それぞれの願いについて想像されることなどを通して、新しい年の健康と幸せを祈るはつもうですが、昔から大切に受け継がれてきた文化であることに気付いたトモキの心情にせまることができるようになる。</li> <li>・ワークシートに書き込むことを通じてじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようになる。</li> <li>・雑煮について話し合ったことも振り返りながら、さらに自由に意見交換することで、日本の伝統や文化について考えを広げたり深めたりできるようになる。</li> </ul>	ワークシート
終末	<p>3、「心のノート 小学校5・6年」106、107ページを開き、受け継がれてきた伝統や文化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心のノート 小学校5・6年」106、107ページを開きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心のノート」を読んだり書き込んだりすることを通して、受け継がれてきた伝統や文化を自分たちも継承、発展させようとする態度や、郷土や我が国を愛する心情を温めるようになる。</li> </ul>	「心のノート」

※ 「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm)

## 2 中学校用「道普請」 指導例

平成24年2月、奈良教育大学ユネスコクラブの学生たちが、平成23年9月の紀伊半島大水害で大きな被害を受けた奈良県十津川村を訪れ、ボランティアとして世界遺産である熊野古道の道普請を行った。本資料は、この道普請に参加した学生を主人公に、十津川村の人々との出会いや道普請の作業を通して、十津川村の人々の温かさや村を愛する思い、古から十津川村の人々が道普請により参詣道を大切に守り受け継いできた思いに触れ、郷土との関わりについて考えを深めていった姿を描いている。

「何でこんなことに参加したのか」と思っていた主人公だったが、道普請の作業を丁寧に行い、十津川村に「また来たい」と思うようになる。主人公を変えていったものは何だったのか。「また来たい」と思う理由は何なのか。これらについて話し合うを通して、郷土を守り育ててきた人々に思いを寄せ、尊敬や感謝の気持ちをもつとともに、郷土に対する深い愛情に共感させたい。また、主人公たちが作った道は、どこへ続していく道なのか—こうした問い合わせについて自由に話し合せ、これからは自分たちが郷土の伝統と文化を受け継ぎ、発展させていこうとする意欲とともに郷土を愛する心情を育みたい。

- ◆ 主題名 郡土と私 指導内容 4-(8)  
資料名 道普請 (奈良県郷土資料 県教育委員会)

### ◆ ねらい

十津川村の人々との出会いや道普請の作業を通して、十津川村の人々の温かさや村を愛する思い、古から十津川村の人々が道普請により参詣道を守り受け継いできた思いに触れ、郷土との関わりについて考えを深めていく主人公について話し合うことにより、郷土と自分との関わりについて見つめ直し、郷土を愛する心情を高める。

### ◆ 展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の意識	指導上の留意点	備考
導入	1、地域の人々が、共同で作業などをしていることについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 地域の人々が、共同で作業などをしていることはありますか。</li><li>・クリーンデーには、みんなで公園の清掃などをしている。</li><li>・盆踊りは、いつも自治会の人々が準備してくれているよ。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身近な人々の郷土への関わり方について想起させ、本時の主題への導入とする。</li><li>・紀伊半島大水害の被災状況等を振り返ることから、本時の資料への導入とともにできるが、地域や生徒の実情に配慮すること。</li></ul>	
展開	2、資料「道普請」を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 旧五百瀬小学校で話を聞かせてくれたおじさんが、主人公にとってとてもまぶしかったのはなぜでしょう。</li><li>・子どもたちへも伝えようとする村を愛する思いの強さやエネルギー</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・村のおばあさんの笑顔やおじさんの言葉、主人公が教員を志望していることなどに着目させ、村を愛し、これからも守っていこうとする情熱や子どもたちにも伝</li></ul>	

	<p>ギーを感じたから。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱っぽく子どもたちの姿を語るおじさんへのあこがれのため。</li> </ul> <p>○ 出発前にはあまり乗り気でなかつた愛と、道普請の作業を一つついでにいに行う愛とを比べ、愛を変えたものは何だったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村を愛し、これからも守っていくとするおじさんたちと会って感じた情熱。</li> <li>・道普請することで村の人々が大切に受け継いできた伝統に気付き、自分も引き継ぐことができた喜び。</li> </ul> <p>○ 愛たちが、「また来たい」と思うのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村の人たちの温かさに触れ、十津川村が好きになったから。</li> <li>・道普請により成長した自分に気付いたから。</li> <li>・十津川村もまた、自分のふるさとだと思うようになったから。</li> </ul> <p>○ 愛たちがつくった道は、どこへ続いている道なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの中津川村の発展。</li> <li>・伝統を大切に受け継いできた人々の心。</li> <li>・ふるさとで生きていく自分たちの未来。</li> </ul>	<p>えようとするひたむきさに打たれた主人公の心情を考えさせる。</p> <p>・道普請をしているとき、主人公が「わたしたちも頑張っている」と心の中でつぶやいた意味について考えさせるなど、古来、人々が連綿と受け継いできた伝統を実感し、今を生きる自分たちが引き継いでいくことの大切さに気付いた主人公に共感させる。</p> <p>・村の人たちの出会いや道普請の体験を通して、主人公が感じたことや考えたことを基に、郷土を守り育ててきた人々への尊敬や感謝、郷土に対する愛情の広がりや深まりを考えさせる。</p> <p>・ワークシートに書き込むことを通じてじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</p> <p>・抽象的な問い合わせを話し合わせるようにし、郷土と自分との関わりについて見つめ直し、郷土の伝統と文化を受け継ぎ、発展させていくとする意欲とともに郷土を愛する心情を高めるようにする。</p>	ワークシート	
開			ワークシート	
終末	<p>3、「心のノート 中学校」を開き、読んだり書き込んだりする。</p>	<p>○ 「心のノート」122、123ページを開きましょう。</p>	<p>・「心のノート」を活用したり、郷土のために力を尽くしている人々や指導者自身の郷土に対する思いを話したりして、郷土を愛する心情をさらに温めるようにする。</p>	「心のノート」

※ 「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm)

# 道徳ワークシート

名前（ ）

お参りをしている人々が、みんな真剣な面持ちで頭を下げていることに気付いたとき、トモキはどんなことを思ったのでしょうか。



# 道徳ワークシート

名前（ ）

「また来たい。」と愛たちが思う理由は何だろうか。

（This section contains five blank lines for writing responses to the question above.)

愛たちがつくりた道は、どこへ続していく道だ  
と思うか。

（This section contains five blank lines for writing responses to the question above. To the right of the lines is a small black and white photograph of a person sitting in a field of tall grass, looking down at something in their hands.)